

第44回「人権を守る市民の集い」の開催について

担当：人権・同和対策課 坪根（電話 0979-22-1229）

12月4日から10日までの「人権週間」の取組みの一つで、今年度で44回目の開催となります。人権啓発優良団体、人権標語、人権作文の表彰と併せ、今回の記念講演会の演題は、「私たちは「部落差別」にどう向き合っていくか～一緒に考えるということ～」です。

目的

あらゆる差別の解消と人権意識の高揚を図るとともに「市民一人ひとりがお互いを尊重し合い、共に生きる喜びを実感できるあったかいまちの実現」を目的としています。

○手話通訳・要約筆記・点字資料・託児サービスあり

○定員：800名程度



- 日時 令和6年11月21日（木）午後2時～午後4時まで
- 場所 中津文化会館 大ホール
- 主催 中津市および中津市教育委員会
- 表彰式 人権啓発優良団体…3団体
人権標語優秀作品…13作品
人権作文…2作品

●記念講演

講師：三木 幸美（みき ゆきみ）さん

<公益財団法人とよなか国際交流協会 事業主任>

演題：私たちは「部落差別」にどう向き合っていくか～一緒に考えるということ～

●人権の花展示・人権ポスター展示

（講師プロフィール）

1991年大阪出身。フィリピンと日本の『ハーフ』として大阪の被差別部落で生まれ、無戸籍・無国籍児から8歳で『日本人』となる。

学生時代に外国にルーツをもつ子ども・若者と関わりはじめ、子ども～社会人までを対象にしたダンス教室を開講。

2016年度より同協会職員となり、2024年度より現職。講談社現代ビジネスでの執筆や講演、NHK・Eテレ『バリバラ』出演など多方面で発信を続けている。

